

伸長を図りたい子供の持つ可能性 －生涯学習の視点に立って－

Bring up The Children's Possibility － A Visual Point of Life Studies －

熊田藤作・柴崎正行・柳下昭夫・高橋裕子・菊池健夫・福田啓子

Tousaku KUMADA, Masayuki SHIBASAKI, Akio YAGISHITA,
Yuuko TAKAHASHI, Takeo KIKUCHI and Keiko FUKUDA

はじめに

個性を尊重することについては、戦後、提唱され続けてきたが、効率を上げる必要性から画一的な教育が行われてきたことは事実である。

豊かな社会の実現とともに教育の見直しが図られ、個性を生かす指導について工夫されつつあるが子供がどのような力を持っているのかが明確でない。子供の持っている資質や能力について把握し、生涯学習の視点に立って、可能な限りの伸長を図るこれからの教育に生かすことを研究の目的とする。この目的によって研究主題を表題のように設定した。

本研究主題の解決に当たっては、グループのメンバーの専門とする領域等について、主要な資質や能力を抽出し、子供がどのように身に付けていくのかを明らかにすることを考えた。しかしながら、その前提として学校教育に様々な課題があることを把握しておく必要があるのではないか。またその確認を通し、メンバーの専門とする領域等について、主要な資質や能力を抽出し、子供がどのように身に付けていくのかを明らかにすることができる。

このような考えに基づいて、初年度である平成8年度に実施した内容を以下に記述する。

I 社会から学校教育への要請

学校教育に様々な課題すなわち、どのような人間を育てることを社会が要請しているのかを

把握するため、中央教育審議会や教育課程審議会の答申等に着目してみたい。極めて羅列的であるが、以下の(1)から(4)までは本グループで取り上げた主要な事項である。

□主要な事項

(1) 昭和40年 中央教育審議会「期待される人間像」は、第一部「当面する日本人の課題」・第二部「日本人に特に期待されるもの」から成っている。

(第一部)「当面する日本人の課題」は次の3項目ある。

- ① 現代文明の特色と第一の要請
 - ② 今日の国際情勢と第二の要請
 - ③ 日本のあり方と第三の要請
- 以下同様に記述する。

(第二部)「日本人に特に期待されるもの」

(1章) 個人として

- ① 自由であること
- ② 個性を伸ばすこと
- ③ 自己を大切にすること
- ④ 強い意志をもつこと
- ⑤ 畏敬の念をもつこと

(2章) 家庭人として

- ① 家庭を愛の場とすること
- ② 家庭の憩の場とすること
- ③ 家庭を教育の場とすること
- ④ 開かれた家庭とすること

(3章) 社会人として

- ① 仕事に打ち込むこと
 - ② 社会福祉に寄与すること
 - ③ 創造的であること
 - ④ 社会規範を重んずること
- (4章) 国民として
- ① 正しい愛国心をもつこと
 - ② 象徴に敬愛の念をもつこと
 - ③ すぐれた国民性を伸ばすこと
- (2) 昭和46年 中央教育審議会「今後における学校教育の総合的な拡充整備のための基本的施策について」では、
- (第一編) 学校教育の改革に関する基本構想
- (第1章) 今後の社会における学校教育の役割
1. 今後の社会における人間形成の根本問題
 - ① 人間形成の他面性と統一性
 - ② 社会環境の人間に対する挑戦
 2. 教育体系の総合的な再検討と学校教育の役割
- (第2章) 初等・中等教育の改革に関する基本構想
1. 初等・中等教育の根本問題
 - ① 発達段階や個の特性に応じた教育内容・方法
 - ② 教育水準の維持・向上
 - ③ 優れた教員の確保
 2. 初等・中等教育改革の基本構想
 - ① 人間の発達過程に応じた学校体系の開発
 - ② 学校段階の特質に応じた教育課程の改善
 - ③ 多様なコースの適切な選択に対する指導の徹底
 - ④ 個人の特性に応じた教育方法の改善
 - ⑤ 公教育の質的水準の維持向上と教育の機会均等
 - ⑥ 幼稚園教育の積極的な普及充実
 - ⑦ 特殊教育の積極的な拡充整備
 - ⑧ 学校内の管理組織と教育行政体制の整備
- ⑨ 教員の養成確保とその地位の向上のための施策
 - ⑩ 教育改革のための研究推進措置
- (3) 昭和51年 教育課程審議会「小学校、中学校及び高等学校の教育課程の基準の改善について」は、前教育課程に関する事項として、
- 一、教育課程の基準の改善の基本方針
 1. 教育課程の基準の改善のねらい
 - ① 人間性豊かな児童生徒を育てること
 - ② ゆとりのあるしかも充実した学校生活を送れるようにすること
 - ③ 国民として必要とされる基礎的・基本的な内容を重視するとともに、児童生徒の個性や能力に応じた教育が行われるようにすること
 2. 教育課程の編成
 - ① 教育課程の領域
 - ② 各教科・科目等の編成
 - ③ 授業時数等
 - ④ 各教科・科目の内容
 - 二、教育課程の基準の改善の関連事項
- (4) 昭和56年 中央教育審議会「生涯教育について」は、最も重視したい事項である。
- (第1章) 我が国における生涯教育の意義
1. 生涯教育の意義
 2. 生涯教育と現代社会
- (第2章) 我が国の生涯教育に関する状況と今後の課題
1. 生涯教育に関する状況
 2. 今後の課題
- (第3章) 成人するまでの教育
1. 人間形成の基礎を培う教育の重要性
 2. 家庭教育の充実
 3. 学校教育における生涯教育の観点の重視
 - ① 学習のための意欲、能力の涵養幼稚園教育においては、幼児の情操や創造性を育むとともに、集団生活を通じて社会性を養うことが必要である。
- 小学校教育においては、まず児童の学習意欲の芽を育むことに教育の主眼を置き、

具体的な活動を通じて学習指導を展開し、基礎的な知識・技能を修得させることを重視すべきである。また、児童の発達に応じて、一人一人が自主的に学び、活動する力を養うため、児童の多様な能力・関心に積極的に働きかけるように努めるとともに、学年を超えた異年齢層の児童の接触・交流がもたらす教育的効果にも配慮し、その一層の推進を図ることが望まれる。

4. 社会教育の推進

(第4章) 成人期の教育

1. 成人への学校教育の開放

① 成人への高等教育の開放

(第5章) 高齢期の教育

(5) 昭和58年 中央教育審議会 教育内容等

小委員会審議経過報告

一、時代の変化と学校教育の在り方

1. 社会の変化と教育の課題

情報化、高齢化、国際化等による新しい社会変化に主体的に対応する能力の育成

2. 学校教育をめぐる諸問題

① 児童生徒の問題行動

② 過熱した受験競争

③ 学校教育の画一性、硬直性

3. 家庭や地域等の教育機能への期待

家庭や地域の教育機能の向上やマス・メディアによる適切情報の活用

4. 今後特に重視されなければならない視点

① 自己教育力の育成

② 基礎・基本の徹底

③ 個性と創造性の伸長

④ 文化と伝統の尊重

二、初等中等教育を通ずる教育内容等の基礎課題

1. 義務教育のとらえ方

義務教育制度について述べるとともに、問題点として画一性、完結性について再検討を要請

2. 初等中等教育の意義と役割

初等教育における知・徳・体の調和的発達、

中等教育の個性に応じた多様な教育の推進

3. 各学校段階の接続に係る教育上の問題

学校教育体系の一貫性、教育内容の連続性、一貫性についての課題

(6) 昭和62年 臨時教育審議会「我が国における社会の変化及び文化の発展に対応する教育の実施を期して各般にわたる施策に関し必要な改革を図るための基本的方策について」

第二次答申 (昭和61. 4. 24)

21世紀のための教育目標

① ひろい心、すこやかな体、

ゆたかな創造力

② 自由・自律と公共の精神

③ 世界の中野日本人

第四次答申(最終答申)

二、教育改革の視点

1. 個性重視の原則

2. 生涯学習体系への移行

3. 変化への対応

① 国際社会への貢献

② 情報社会への対応

(7) 昭和62年 教育課程審議会「幼稚園、小学校、中学校及び高等学校の教育課程の基準の改善について」(昭和62. 12. 24)

一、教育課程の基準の改善の方針

1. 教育課程の基準の改善のねらい

・ 豊かな心をもち、たくましく生きる人間の育成を図ること

・ 自ら学ぶ意欲と社会の変化に主体的に対応できる能力の育成を重視すること

・ 国民として必要とされる基礎的・基本的な内容を重視し、個性を生かす教育の充実を図ること

・ 国際理解を深め、我が国の文化と伝統を尊重する態度の育成を重視すること

2. 教育課程の編成

3. 授業時数等

4. 各教科・科目等の内容

5. 六年制中学校及び単位制高等学校

二、教育課程の基準の改善の関連事項

- (8) 平成2年 中央教育審議会「生涯学習の基盤整備について」(平成2.1.30)
- (9) 平成2年 第14期中央教育審議会 審議経過報告(平成2.12.18)
- 学校制度
- (第1章) 根本の問題はどこにあるか
- (第2章) 高等学校の現状
- (第4章) 改革の基本方向は何か
- (第5章) 改革の具体的方策
- (第6章) 各方面に訴える
- 生涯学習
1. 生涯学習の成果に関する評価の実態と考え方
2. 生涯学習の成果の評価に関する方策
- (10) 平成3年 文部省, 小・中, 児童・生徒指導要録の改訂(通知) (平成3.3.20)
- 児童指導要録 改訂の趣旨
1. 新学習指導要領が目指す学力観に立った教育の実践に役立つ
(観点別学習状況を重視, 低学年の評定廃止)
2. 児童一人一人の可能性を積極的に評価し, 豊かな自己実現に役立つ
(児童の長所を取り上げた所見記録)
3. 指導要録に記録する内容の精選や保存期間の短縮を行い, 保存管理の方法等の整備を図る
学校教育法施行規則第12条の3, 第15条改正
(指導要録の保存期間学籍20年指導5年)
- (11) 平成3年 第14期中央教育審議会(答申) (平成3.4.19)
- (第一部) 改革の背景と視点
改革の背景, 高等学校の現状と問題点, 改革の視点
- (第二部) 後期中等教育の改革とこれに関連する高等教育の課題
高等学校教育の改革, 受験競争の緩和等(激化の問題点, 大学・高校入学選抜の改善)
- (第三部) 生涯学習社会への対応
生涯学習における学校の役割, 成果の評価
- 改革の実現のために
企業・官公庁, 大学, 高校, 家庭へ
- (12) 平成6年 文部省調査研究協力者会議「学校五日制について」
「学校週五日制」について文部省決定(平成6.11.24)
- 幼稚園・小学校・中学校・高等学校など
平成7年度 第一学期から月の第二土曜日と第四土曜日を休業日とする
- (13) 平成7年 第15期中央教育審議会発足(平成7.4.26)
- (諮問事項)
21世紀を展望した我が国の教育の在り方について
- ① 今後における教育の在り方及び学校・家庭・地域社会の役割と連携の在り方
- ② 一人一人の能力・適正に応じた教育と学校間の接続の改善
- ③ 国際化, 情報化, 科学技術の発展等社会の変化に対応する教育の在り方
- <関連事項>
- ① 学校週五日制の今後の在り方
- ② 教育上の例外措置
- ③ 世界の中の日本人の育成
- ・ マルチメディア時代の教育の対応
 - ・ 青少年の科学技術離れへの対応と創造性ある人間の育成
- (14) 平成8年 中央教育審議会第一小委員会「審議のまとめ」(平成8.7.19)
- <教育内容の重点化>
- ① 国語を尊重する態度を育てるとともに, 国語により適切に表現する能力と的確に理解する能力を養い, 思考力, 想像力, 言語感覚を育てること
- ② 様々な事象を数理的に考察し, 処理する能力と論理的な思考力を育てること
- ③ 我が国の文化と伝統に対する理解と愛

情、世界と日本との関わりについての理解を図ること

- ④ 諸外国の文化に対する理解とこれを尊重する態度及び外国語によるコミュニケーション能力を育てること
 - ⑤ 民主的社会の一員としての基本的な知識と態度、社会的事象についての公正な判断力を育てること
 - ⑥ 自然や科学についての見方や考え方、科学的思考力・判断力を育てること
 - ⑦ 家庭生活や社会生活の意義や向上改善のために必要な基本的知識、技術の習得、職業や家庭生活に関する主体的実践的な態度を育てること
 - ⑧ 表現・鑑賞活動を通して、音楽や美術など芸術を愛好する心得、芸術に対する豊かな感性、情操の基礎を育てること
 - ⑨ 運動活動、健康保持増進活動等を通して、運動に親しむ習慣、健康で安全な生活を生涯にわたって送る態度の基礎を培うこと
 - ⑩ 情報の理解、選択、処理、創造などの能力及び情報手段を活用する能力や態度を育てること
 - ⑪ 新しい課題を見出し、それに対して、身に付けた知識や技能を総合的に活用して、問題解決や探究活動に主体的に取り組む能力や態度を育てること
 - ⑫ 自らを律しつつ、他人を思いやる心、生命を尊重する心や感動する心、公德心、ボランティア精神、郷土や国を愛する心、世界の平和や国際親善に努める心など豊かな人間性を育てるとともに、自分の生き方を主体的に考える態度を育てること
- 〈生き方〉

家庭教育の在り方において

- ① 基本的な生活習慣・生活能力の習慣
- ② 豊かな情操の形成、他人に対する思いやり、善悪の判断などの基本的倫理観
- ③ 自制心、自立心

II 資質や能力等の抽出

これまでに記述してきた中央教育審議会や教育課程審議会の答申等に基づいて、そこで提唱されている資質や能力並びに態度を客観的に抽出してみた。それが以下の1.から8.の内容項目である。

1. 心に関する項目

- ① 学習意欲
- ② 真理を求める心
- ③ 自然を愛する心
- ④ 美しいものに感動する心
- ⑤ 崇高なものに感動する心
- ⑥ 生命を尊重する心
- ⑦ 他人を思いやる心
- ⑧ 感謝の心
- ⑨ 公共のために尽くす心
- ⑩ すこやかな精神
- ⑪ すこやかな身体
- ⑫ 基本的な生活習慣
- ⑬ 社会規範を守る態度
- ⑭ 自律・自制の心
- ⑮ 強靱な意志と実践力
- ⑯ 自ら生きる目標を求めその実現に努める態度

2. 学習に関する項目

- ① 思考力、想像力
- ② 論理的な思考力
- ③ 基本的な知識と態度
- ④ 公正な判断力
- ⑤ 科学についての見方や考え方
- ⑥ 科学的思考力・判断力
- ⑦ 生活向上改善のために必要な基本的知識、技術

3. 問題解決等に関する項目

- ① 情報の理解、選択、処理、創造などの能力
- ② 情報手段を活用する能力や態度
- ③ 問題解決や探究活動に主体的に取り組む能力や態度
- ④ 自らを律しつつ、他人を思いやる心

- ⑤ 生命を尊重する心や感動する心
 - ⑥ 豊かな人間性
 - ⑦ 自分の生き方を主体的に考える態度
4. 生活に関する項目
- ① 基本的な生活習慣
 - ② 基本的な生活能力
 - ③ 豊かな情操の形成
 - ④ 自制心
 - ⑤ 他人に対する思いやり
 - ⑥ 自立心
 - ⑦ 善悪の判断などの基本的倫理観
5. 学習指導要領の趣旨に関する項目
- ① 心豊かに、主体的、創造的に生きていく力
 - ② 関心や意欲とともに、よりよいものを目指そうとする自己実現の態度
 - ③ 思考力や判断力
 - ④ 自分の課題や意図を解決したり、実現したりする能力
 - ⑤ 表現する能力や技能
 - ⑥ 学習や生活に生きて働く知識や理解の能力
6. 豊かさたくましさに関する項目
- ① 真理を求める心や自然を愛し美しいものや崇高なものに感動する心を育てること
 - ② 生命を尊重する心や他人を思いやる心を育てること
 - ③ すこやかな精神と身体を育てること
 - ④ 自律・自制の心や強靱な意志と実践力を育てること
 - ⑤ 自ら生きる目標を求めその実現に努める態度を育てること
7. 平成8年 中央教育審議会第一小委員会「審議のまとめ」に関する項目
- ① 様々な事象を数理的に考察し、処理する能力と論理的な思考力を育てること
 - ② 自然や科学についての見方や考え方、科学的思考力・反弾力を育てること
 - ③ 情報の理解、選択、処理、創造などの

- 能力及び情報手段を活用する能力や態度を育てること
- ④ 新しい課題を見出し、それに対して、身に付けた知識や技能を総合的に活用して、問題解決や探究活動に主体に取り組む能力や態度を育てること
 - ⑤ 自らを律しつつ、他人を思いやる心、生命を尊重する心や感動する心、公德心、ボランティア精神、郷土や国を愛する心、世界の平和や国際親善に努める心など豊かな人間性を育てるとともに、自分の生き方を主体的に考える態度を育てること
8. 生きる力に関する項目
- ① 基本的な生活習慣・生活能力の習慣
 - ② 豊かな情操の形成、他人に対する思いやり、善悪の判断などの基本的倫理観
 - ③ 自制心、自立心
 - ④ たくましい健康と体力

Ⅲ 調査の実施

以上の資質や能力並びに態度の抽出を経て、小学校では各事項の中で、どれを重視しているのか調べてみることにした。

アンケート調査の形式をとることとし、調査用紙は表1のA案と表2のB案を作成し検討を加えた。A案は、心に関する事項、態度に関する事項、生活に関する事項、学習に関する事項、生きる力に関する事項等の中でどこが重視されているかが明確になる。B案は、心に関する事項、態度に関する事項、生活に関する事項、学習に関する事項、生きる力に関する事項そのもののどこが重視されているのか、その傾向を把握することができる。

今後の研究の予備調査として実施することを配慮し、B案を採用することにした。また、参考資料を得ることを考慮し、都内公立小学校5校の教員対象に依頼することにした。また、教科教育法をほとんど履修している本学児童学科児童教育専攻の3年生についても実施してみることにした。

伸長を図りたい子供の持つ可能性

表 1

調査用紙 A案 対象(小学校 教員)

平成8年 月()日記入 小学校名()立()小学校
教職経験[]年[]月(平成9年3月31日現在)

- ◎ 現在の子供たちにとって、どのような資質や能力が必要とお考えですか。下記の各設問についてお答え下さい。
- (1) 心にかかわる事項として、次の10項目の中から 特に育てたいものを3項目まで選んで、()に○印を、記入してください。
 ①() 真理を求める心 ②() 知識を求める心 ③() 自然を愛する心
 ④() 美しいものに感動する心 ⑤() 崇高なものに感動する心 ⑥() 生命を尊重する心
 ⑦() 他人を思いやる心 ⑧() 感謝の心 ⑨() 公共のために尽くす心
 ⑩() 自律・自制の心
 - (2) 上記の中で、子供が、比較的早い時期(入学時～低学年)からもっているものを、1項目選んで、下の[]に①～⑩の記号を、記入してください。該当項目が無い場合は“なし”と記入してください。
[]
 - (1) 態度にかかわる事項として、次の7項目の中から 特に育てたいものを2項目まで選んで、()に○印を、記入してください。
 ①() 事象に対する興味や関心 ②() よりよいものを目指そうとする自己実現の態度
 ③() 自ら生きる目標を求めその実現に努める態度 ④() 自分の生き方を主体的に考える態度
 ⑤() 強靱な意志と実践力 ⑥() 基本的な生活態度 ⑦() 社会規範を守る態度
 - (2) 上記の中で、子供が、比較的早い時期(入学時～低学年)からもっているものを、1項目選んで、下の[]に①～⑦の記号を、記入してください。該当項目が無い場合は“なし”と記入してください。
[]
 - (1) 生活にかかわる事項として、次の8項目の中から 特に育てたいものを2項目まで選んで、()に○印を、記入してください。
 ①() 基本的な生活習慣 ②() 基本的な生活能力 ③() 自制心 ④() 自立心
 ⑤() 善悪の判断などの基本的倫理観 ⑥() 社会規範を守る態度 ⑦() すこやかな精神
 ⑧() 自らを律しつつ、他人を思いやる心
 - (2) 上記の中で、子供が、比較的早い時期(入学時～低学年)からもっているものを、1項目選んで、下の[]に①～⑧の記号を、記入してください。該当項目が無い場合は“なし”と記入してください。
[]
 - (1) 学習にかかわる事項として、次の10項目の中から 特に育てたいものを3項目まで選んで、()に○印を記入してください。
 ①() 学習意欲 ②() 論理的な思考力 ③() 公正な判断力 ④() 創造性、創造力
 ⑤() 表現力 ⑥() 基本的な知識と態度 ⑦() 豊かな情操 ⑧() すこやかな身体
 ⑨() 生活上改善のために必要な基本的知識、技術
 ⑩() 問題解決や探究活動に主体的に取り組む能力や態度
 - (2) 上記の中で、子供が、比較的早い時期(入学時～低学年)からもっているものを、1項目選んで、下の[]に①～⑩の記号を、記入してください。該当項目が無い場合は“なし”と記入してください。
[]
 - (1) 生きる力にかかわる事項として、次の10項目の中から 特に育てたいものを3項目まで選んで、()に、○印を記入してください。
 ①() 基本的な生活習慣・生活能力の習慣や自制心と自立心
 ②() 豊かな情操の形成、他人に対する思いやり、善悪の判断などの基本的倫理観
 ③() たくましい体力と健康 ④() 自分の生き方を主体的に考える態度
 ⑤() 様々な事象を数理的に考察し、処理する能力と論理的な思考力を育てること。
 ⑥() 自然や科学についての見方や考え方、科学的思考力・判断力を育てること。
 ⑦() 情報の理解、選択、処理、創造などの能力及び情報手段を活用する能力や態度を育てること。
 ⑧() 新しい課題を見出し、それに対して、身に付けた知識や技能を総合的に活用して、問題解決や探究活動に主体に取り組む能力や態度を育てること。
 ⑨() 生命を尊重する心や感動する心、公德心、ボランティア精神を育てること。
 ⑩() 郷土や国を愛する心、世界の平和や国際親善に努める心など豊かな人間性を育てること。
 - (2) 上記の中で、子供が、比較的早い時期(入学時～低学年)からもつだろうと考えられるものを、1項目選んで下の[]に①～⑩の記号を、記入してください。該当項目が無い場合は“なし”と記入してください。
[]

東京家政大学 総合プロジェクト研究 Bグループ(小学校教員 予備調査)

表2

調査用紙 B案 対象(小学校 教員)

平成8年 月()日記入 小学校名()立()小学校
教職経験[]年[]月(平成9年3月31日現在)

(1) 現在の子供たちにとって、どのような資質や能力並びに態度を育てることが必要とお考えですか。次の各項目の中から特に育てたいものを10項目まで選んで、()に○印を記入してください。

1. () 真理を求める心
2. () 知識を求める心
3. () 自然を愛する心
4. () 自立心
5. () 美しいものに感動する心
6. () 崇高なものに感動する心
7. () 生命を尊重する心
8. () 他人を思いやる心
9. () 感謝の心
10. () 公共のために尽くす心
11. () 自律・自制の心
12. () 事象に対する興味や関心
13. () よりよいものを目指そうとする自己実現の態度
14. () 自ら生きる目標を求めその実現に努める態度
15. () 自分の生き方を主体的に考える態度
16. () 強靱な意志と実践力
17. () 基本的な生活態度
18. () 社会規範を守る態度
19. () 基本的な生活習慣
20. () 基本的な生活能力
21. () 善悪の判断などの基本的倫理観
22. () すこやかな精神
23. () 学習意欲
24. () 論理的な思考力
25. () 公正な判断力
26. () 創造性、創造力
27. () 生活向上改善のために必要な基本的知識、技術
28. () 表現力
29. () 基本的な知識と態度
30. () 豊かな情操
31. () すこやかな身体
32. () 問題解決や探究活動に主体的に取り組む能力や態度
33. () たくましい体力
34. () 生活習慣・能力の習慣や自制心と自立心
35. () 様々な事象を数理的に考察し、処理する能力
36. () 科学的思考力・判断力
37. () 国語を尊重する態度
38. () 国語により適切に表現する能力
39. () 国語を的確に理解する能力
40. () 我が国の文化と伝統に対する理解と愛情
41. () 世界と日本との関わりについての理解
42. () 諸外国の文化に対する理解
43. () 諸外国の文化を尊重する態度
44. () 外国語によるコミュニケーション能力
45. () 民主的社会の一員としての基本的な知識と態度
46. () 社会的事象についての公正な判断力
47. () 自然や科学についての見方や考え方
48. () 家庭生活や社会生活の向上改善のために必要な判断力
49. () 職業や家庭生活に関する主体的実践的な態度
50. () 健康で安全な生活を生涯にわたって送る態度
51. () 家庭生活や社会生活の向上改善のために必要な基本的知識、技術
52. () 運動に親しむ習慣
53. () 音楽や美術など芸術を愛好する心得
54. () 芸術に対する豊かな感性、情操の基礎
55. () 情報の理解、選択、処理、創造などの能力
56. () 情報手段を活用する能力や態度
57. () 身に付けた知識や技能の総合的活用
58. () 公德心やボランティア精神
59. () 郷土や国を愛する心
60. () 世界の平和や国際親善に努める心

(2) 上記の各項目の外に、現在の子供たちにとって、育てる必要がある資質や能力並びに態度がありましたら、下の欄にご記入下さい。現在のところ、特に無い場合は“なし”と記入してください。

① ② ③
(3) 上記(1)の1~61の全項目また、(2)で先生にお書きいただいた項目の中で、子供が、比較的早い時期(入学時~低学年)からもっているもの、ないしは比較的早い時期(入学時~低学年)に育てられるものを、5項目まで選んで下の欄に1~61の番号または①~の番号で記入してください。該当項目が無い場合は“なし”と記入してください。

IV 調査の集計

アンケート調査の回答数は、現職教員67、本学児童学科児童教育専攻3年生から61を得た。

現職教員67名の教職経験年数は、9年までの16名、10～19年が14名、20～29年が21名、30年以上が16名であった。

(1)の、「現在の子供たちにとって、特に育てることが必要な資質や能力並びに態度」については表3のような結果を得、(2)の掲出した各項目の外に育てる必要がある資質や能力並びに態度については、現職教員から18項目、本学学生から21項目挙げた。(3)の「子供が比較的早い時期(入学時～低学年)から持つ、または育つ資質や能力並びに態度」については表4のような結果を得た。

(2)の掲出した各項目の外に育てる必要がある資質や能力並びに態度について、現職教員と本学学生から新たに挙げられた事項は下記の通りである。

◎ 現職教員が挙げた項目

	人数
1 地球環境保全に関すること	1
2 地球を愛する心	1
3 自他共に愛する心	1
4 人とのかかわりを積極的に もとうとする態度	1
5 弱い者をいたわる心	1
6 弱者に対する思いやる心	1
7 相手を尊ぶ心	1
8 礼儀正しい言葉遣い	1
9 責任感	1
10 忍耐力	1
11 集団の中での自分の役割	1
12 寛容な精神	1
13 協調性	1
14 正しい自己表現の仕方	1
15 体験を通しての日常生活の 基本的態度	1
16 地域などで多くの大人から 得られる経験	1

17 地域の一部であるという自覚	1
18 地域のために尽くす態度	1

◎ 児童教育専攻学生(3年)が挙げた項目

	人数
1 他との協調、協力	3
2 人や友達との関わり 人づきあい	2
3 物を大切に作る心	2
4 優しさ	1
5 自分より弱い者を思いやる心	1
6 人を好きになること	1
7 他人の心の痛みの分かる人	1
8 人を信じる心	1
9 他人を認める心	1
10 適応力	1
11 約束を守る	1
12 自分なりに努力する心	1
13 何事にも負けずに立ち向かう 強い心	1
14 強い心	1
15 豊かな想像力	1
16 読書する心	1
17 目上の人を敬う気持ち	1
18 家族を思う心	1
19 家族や友達などとの コミュニケーション	1
20 政治・経済に対する態度	1
21 お金の価値を知る	1

以上の項目は、今回、特に分類等を行っていないが今後の参考資料にすることにしたい。

(1)の、「現在の子供たちにとって、特に育てることが必要な資質や能力並びに態度」についての表3と、(3)の「子供が比較的早い時期(入学時～低学年)から持つ、または育つ資質や能力並びに態度」についての表4を提示した後、このことについてのグループの検討事項を記述する。

表3

(1) 現在の子供たちにとって、特に育てることが必要な資質や能力並びに態度

現職教員数 学生数	(5校) 児童教育専攻 67名 61名	教職経験	現 職 教 員				合計	学生 3年生
			1-9	10-19	20-29	30 ~		
1. 真理を求める心		1			2	1	4	3
2. 知識を求める心					1	1	2	2
3. 自然を愛する心		8	6	7	5	5	26	28
4. 自立心		4	3	5	7	19	14	14
5. 美しいものに感動する心		4	4	2	5	15	17	17
6. 崇高なものに感動する心				2	2	2	2	3
7. 生命を尊重する心		11	6	8	11	36	30	30
8. 他人を思いやる心		14	12	11	13	50	57	57
9. 感謝の心		7	6	8	7	28	28	28
10. 公共のために尽くす心			1	1	2	4	1	1
11. 自律・自製の心		2	5	4	7	18	6	6
12. 事象に対する興味や関心		1	1	2	1	5	11	11
13. よりよいものを目指そうとする自己実現の態度		5	6	6	3	20	9	9
14. 自ら生きる目標を求めその実現に努める態度		3	4	3	1	11	14	14
15. 自分の生き方を主体的に考える態度		4	2	6	4	16	5	5
16. 強靱な意志と実践力		2	1	2		5	2	2
17. 基本的な生活態度		7	4	4	7	22	14	14
18. 社会規範を守る態度		1	3	4	2	10	12	12
19. 基本的な生活習慣		5	2	4	6	17	16	16
20. 基本的な生活能力		7	2	2	5	16	5	5
21. 善悪の判断などの基本的倫理観		8	7	10	9	34	38	38
22. すこやかな精神		2	1	2	1	6	12	12
23. 学習意欲		1	1	2		4	6	6
24. 論理的な思考力		1			1	2	1	1
25. 公正な判断力		3	1	2	4	10	2	2
26. 創造性、創造力		4	5	2	3	14	18	18
27. 生活向上改善のために必要な基本的知識、技術		1	1			1	3	3
28. 表現力		4	4	5	3	16	24	24
29. 基本的な知識と態度		1			1	2	6	6
30. 豊かな情操		3	4	8	4	19	15	15
31. すこやかな身体			4	1	1	6	24	24
32. 問題解決や探究活動に主体的に取り組む能力や態度		4	3	5	1	13	18	18
33. たくましい体力		7	1	2	4	14	4	4
34. 生活習慣・能力の習慣や自制心と自立心		1	1	6	7	15	17	17
35. 様々な事象を数理的に考察し、処理する能力								
36. 科学的思考力・判断力		2	1	3	1	7	2	2
37. 国語を尊重する態度			1		1	2	1	1
38. 国語により適切に表現する能力			1	3	1	5	3	3
39. 国語を的確に理解する能力		1				1	1	1
40. 我が国の文化と伝統に対する理解と愛情			1	1	1	3	7	7
41. 世界と日本との関わりについての理解						2	10	10
42. 諸外国の文化に対する理解			2	2		4	3	3
43. 諸外国の文化を尊重する態度			1			1	2	2
44. 外国語によるコミュニケーション能力			1	2		3	5	5
45. 民主的社会の一員としての基本的な知識と態度				3	2	5	2	2
46. 社会的事象についての公正な判断力			1	4	2	7	1	1
47. 自然や科学についての見方や考え方		3		2		5	2	2
48. 家庭生活や社会生活の向上改善のために必要な判断力			1	1		2	3	3
49. 職業や家庭生活に関する主体的実践的な態度		1	1	1	1	4	2	2
50. 健康で安全な生活を生涯にわたって送る態度		2	3	3	2	10	11	11
51. 家庭生活や社会生活の向上改善 のために必要な基本的知識、技術					1	1	4	4
52. 運動に親しむ習慣		3	2	1	1	7	13	13
53. 音楽や美術など芸術を愛好する心得		1	5	1	3	10	4	4
54. 芸術に対する豊かな感性、情操の基礎		1	2	3	4	10	4	4
55. 情報の理解、選択、処理、創造などの能力		2	3	1		6	5	5
56. 情報手段を活用する能力や態度		1		1		2	1	1
57. 身に付けた知識や技能の総合的活用		1	1	4		6	16	16
58. 公徳心やボランティア精神		3	1	4	8	16	17	17
59. 郷土や国を愛する心				2		2	12	12
60. 世界の平和や国際親善に努める心		4			1	5	12	12

表4

(3) 子供が比較的早い時期(入学時～低学年)から持つ、または育つ資質や能力並びに態度

現職教員数 学生数	(5校) 児童教育専攻	67名 61名	現 職 教 員				合計	学生 3年生
			教職経験	1-9	10-19	20-29		
1. 真理を求める心								1
2. 知識を求める心			1	2		1	1	5
3. 自然を愛する心			5	5		3	4	17
4. 自立心			1	2		2	1	6
5. 美しいものに感動する心			7	3		4	6	20
6. 崇高なものに感動する心						1		1
7. 生命を尊重する心			3	2		6	7	18
8. 他人を思いやる心			8	7		7	7	29
9. 感謝の心			4	4		5	1	14
10. 公共のために尽くす心						1		1
11. 自律・自制の心				1		3	1	5
12. 事象に対する興味や関心			3	1		2	2	8
13. よりよいものを目指そうとする自己実現の態度								
14. 自ら生きる目標を求めその実現に努める態度								
15. 自分の生き方を主体的に考える態度							1	1
16. 強靱な意志と実践力								
17. 基本的な生活態度			7	3		5	4	19
18. 社会規範を守る態度			1	1		2		4
19. 基本的な生活習慣			8	2		8	6	24
20. 基本的な生活能力			1	2		2	1	6
21. 善悪の判断などの基本的倫理観			4	1		6	2	13
22. すこやかな精神							1	1
23. 学習意欲						1		1
24. 論理的な思考力								1
25. 公正な判断力						1		1
26. 創造性、創造力				2				2
27. 生活向上改善のために必要な基本的知識、技術								2
28. 表現力			1	2		3	2	8
29. 基本的な知識と態度								
30. 豊かな情操			3			3		6
31. すこやかな身体						1	2	3
32. 問題解決や探究活動に主体的に取り組む能力や態度								
33. たくましい体力			2			2		4
34. 生活習慣・能力の習慣や自制心と自立心						3	1	4
35. 様々な事象を数理的に考察し、処理する能力								
36. 科学的思考力・判断力								
37. 国語を尊重する態度								
38. 国語により適切に表現する能力								
39. 国語を的確に理解する能力								
40. 我が国の文化と伝統に対する理解と愛情								
41. 世界と日本との関わりについての理解								1
42. 諸外国の文化に対する理解								
43. 諸外国の文化を尊重する態度								
44. 外国語によるコミュニケーション能力								3
45. 民主的社会の一員としての基本的な知識と態度								
46. 社会的事象についての公正な判断力								
47. 自然や科学についての見方や考え方						1		1
48. 家庭生活や社会生活の向上改善のために必要な判断力								
49. 職業や家庭生活に関する主体的実践的な態度						1		1
50. 健康で安全な生活を生涯にわたって送る態度								
51. 家庭生活や社会生活の向上改善 のために必要な基本的知識、技術								1
52. 運動に親しむ習慣			1			1	1	3
53. 音楽や美術など芸術を愛好する心得								10
54. 芸術に対する豊かな感性、情操の基礎								3
55. 芸術に対する豊かな感性、情操の基礎			1			1	1	3
56. 情報の理解、選択、処理、創造などの能力								4
57. 情報手段を活用する能力や態度						1		1
58. 身に付けた知識や技能の総合的活用								
59. 公徳心やボランティア精神						2		2
60. 郷土や国を愛する心								
61. 世界の平和や国際親善に努める心								

V 集計の結果

アンケート調査の回答を集計したところ、概要、次のような結果を得た。

(1)の「現在の子供たちにとって、特に育てることが必要な資質や能力並びに態度」については、現職教員の場合、次のような心に関する項目が多い。

- 3. 自然を愛する心
- 4. 自立心
- 7. 生命を尊重する心
- 8. 他人を思いやる心
- 9. 感謝の心
- 11. 自律・自制の心
- 13. よりよいものを目指そうとする自己実現の態度

- 17. 基本的な生活態度
- 21. 善悪の判断などの基本的倫理観
- 30. 豊かな情操

学生は、次のような、心とともに、学習に関する項目を多く取り上げている。

- 3. 自然を愛する心
- 5. 美しいものに感動する心
- 7. 生命を尊重する心
- 8. 他人を思いやる心
- 9. 感謝の心

- 21. 善悪の判断などの基本的倫理観
- 26. 創造性、創造力
- 28. 表現力
- 31. すこやかな身体
- 32. 問題解決や探究活動に主体的に取り組む能力や態度
- 34. 生活習慣・能力の習慣や自制心と自立心
- 58. 公德心やボランティア精神

これらの状況を示したものが、表5と表6である。

(2)の「子供が比較的早い時期（入学時～低学年）から持つ、または育つ資質や能力並びに態度」については、現職教員の場合、次の項目を多く取り上げている。(表7)

- 3. 自然を愛する心
- 5. 美しいものに感動する心
- 7. 生命を尊重する心
- 8. 他人を思いやる心
- 9. 感謝の心
- 12. 事象に対する興味や関心

- 17. 基本的な生活態度
- 19. 基本的な生活習慣
- 21. 善悪の判断などの基本的倫理観
- 28. 表現力

心にかかわる項目が多い。学生の場合もほぼ同様の傾向があり、次の項目が多い。(表8)

- 3. 自然を愛する心
- 5. 美しいものに感動する心
- 7. 生命を尊重する心
- 8. 他人を思いやる心
- 9. 感謝の心

- 12. 事象に対する興味や関心
- 17. 基本的な生活態度
- 19. 基本的な生活習慣
- 30. 豊かな情操
- 31. すこやかな身体

- 52. 運動に親しむ習慣

集計の結果を重ねてみると、興味あることがある。「特に育てることが必要で、比較的早い時期から持つ、または育つ資質や能力並びに態度」として、現職教員は次の項目を挙げていることになる。

- 3. 自然を愛する心
- 7. 生命を尊重する心
- 8. 他人を思いやる心
- 9. 感謝の心

- 17. 基本的な生活態度

学生は、次の項目を挙げていることになる。

- 3. 自然を愛する心
- 5. 美しいものに感動する心
- 7. 生命を尊重する心
- 8. 他人を思いやる心
- 9. 感謝の心

- 31. すこやかな身体

この様子は、表9並びに表10で示している。今後の重要な資料にもなるもので、特にグラフ化して、図1と図2に表してみた。

今後の課題となるものの一つとして、教科に関する項目と生きる力に関する項目がある。その状況は表11と表12に示してある。調査の方法にもよるが、現職と学生の間意識の違いがやや顕著である。

表5

(1) 現在の子供たちにとって、特に育てることが必要な資質や能力並びに態度

① 現職教員 上位10項目

分類項目	内容項目	教職経験年数				合計
		0-9	10-19	20-29	30-	
心にかかわる	3.自然を愛する心	8	6	7	5	26
	4.自立心	4	3	5	7	19
	7.生命を尊重する心	11	6	8	11	36
	8.他人を思いやる心	14	12	11	13	50
	9.感謝の心	7	6	8	7	28
態度にかかわる	11.自律・自製の心	2	5	4	7	18
	13.よりよいものを目指そうとする自己実現の態度	5	6	6	3	20
	17.基本的な生活態度	7	4	4	7	22
生活にかかわる	21.善悪の判断などの基本的倫理観	8	7	10	9	34
学習にかかわる	30.豊かな情操	3	4	8	4	19

N = 67

表6

② 学生 児教3年 上位12項目

分類項目	内容項目	計
心にかかわる	3.自然を愛する心	28
	5.美しいものに感動する心	17
	7.生命を尊重する心	30
	8.他人を思いやる心	57
	9.感謝の心	28
生活にかかわる	21.善悪の判断などの基本的倫理観	38
学習にかかわる	26.創造性、創造力	18
	28.表現力	24
	31.すこやかな身体	24
	32.問題解決や探究活動に主体的に取り組む能力や態度	18
	34.生活習慣・能力の習慣や自制心と自立心	17
生きる力にかかわる	58.公德心やボランティア精神	17

N = 61

表7

(2) 子供が比較的早い時期（入学時～低学年）から持つ、または育つ資質や能力並びに態度

① 現職教員 上位10項目

分類項目	内容項目	教職経験年数				合計
		0-9	10-19	20-29	30-	
心にかかわる	3. 自然を愛する心	5	5	3	4	17
	5. 美しいものに感動する心	7	3	4	6	20
	7. 生命を尊重する心	3	2	6	7	18
	8. 他人を思いやる心	8	7	7	7	29
	9. 感謝の心	4	4	5	1	14
態度にかかわる	12. 事象に対する興味や関心	3	1	2	2	8
	17. 基本的な生活態度	7	3	5	4	19
生活にかかわる	19. 基本的な生活習慣	8	2	8	6	24
	21. 善悪の判断などの 基本的倫理観	4	1	6	2	13
学習にかかわる	28. 表現力	1	2	3	2	8

N = 67

表8

② 学生 児教3年 上位11項目

分類項目	内容項目	計
心にかかわる	3. 自然を愛する心	29
	5. 美しいものに感動する心	12
	7. 生命を尊重する心	14
	8. 他人を思いやる心	19
	9. 感謝の心	23
態度にかかわる	12. 事象に対する興味や関心	25
	17. 基本的な生活態度	14
生活にかかわる	19. 基本的な生活習慣	36
学習にかかわる	30. 豊かな情操	10
	31. すこやかな身体	16
	52. 運動に親しむ習慣	10

N = 61

表9

(3) 特に育てることが必要で、比較的早い時期から持つ、または育つ資質や能力並びに態度

① 現職教員

		育てたい	早く育つ
心にかかわる	3. 自然を愛する心	26	17
	4. 自立心	19	6
	7. 生命を尊重する心	36	18
	8. 他人を思いやる心	50	29
	9. 感謝の心	28	14
	11. 自律・自制の心	18	5
態度にかかわる	13. よりよいものを目指そうとする 自己実現の態度	20	0
	17. 基本的な生活態度	22	19
生活にかかわる	21. 善悪の判断などの基本的倫理観	34	13
学習にかかわる	30. 豊かな情操	19	6
		N = 67	

表10

② 学生 児教3年

		育てたい	早く育つ
心にかかわる	3. 自然を愛する心	28	29
	5. 美しいものに感動する心	17	12
	7. 生命を尊重する心	30	14
	8. 他人を思いやる心	57	19
	9. 感謝の心	28	23
生活にかかわる	21. 善悪の判断などの基本的倫理観	38	12
学習にかかわる	26. 創造性、創造力	18	6
	28. 表現力	24	9
	31. すこやかな身体	24	16
	32. 問題解決や探究活動に主体的に 取り組む能力や態度	18	1
生きる力にかかわる	34. 生活習慣・能力の習慣や自制心 と自立心	17	0
	58. 公德心やボランティア精神	17	0
		N = 61	

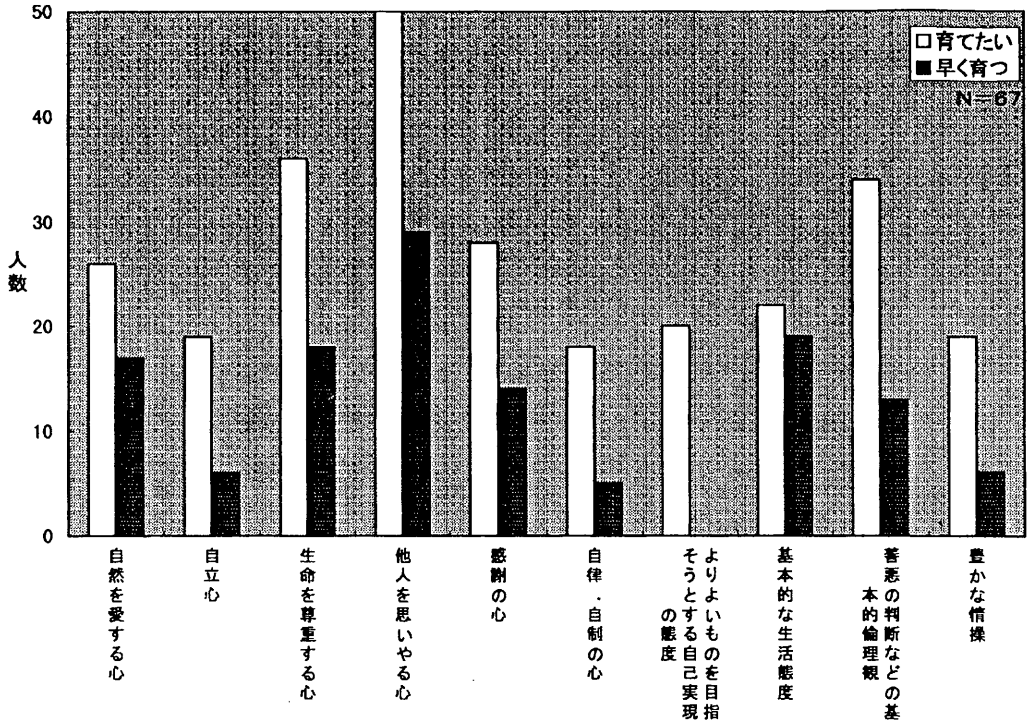


図1 育てることが必要で、早い時期に育つ資源・能力・態度 (教員)

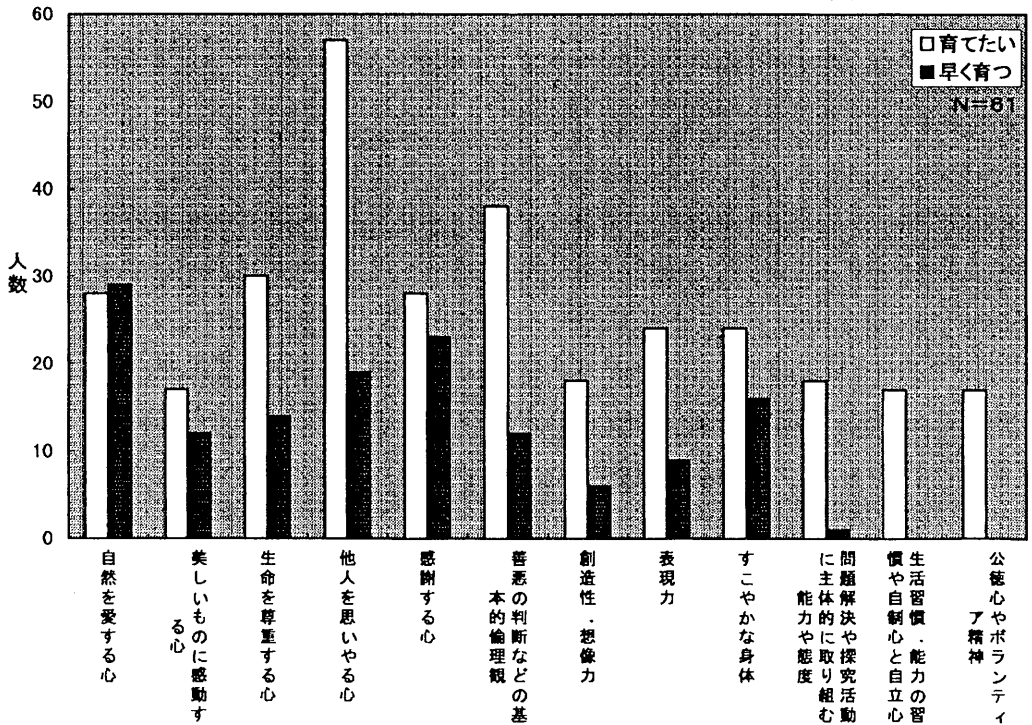


図2 育てることが必要で、早い時期に育つ資源・能力・態度 (学生)

表11

(4) 教科に関する項目で特に育てたい資質や能力並びに態度

		現職教員	学 生 児教3年
国語	37.国語を尊重する態度	2	1
国語	38.国語により適切に表現する能力	5	3
国語	39.国語を的確に理解する能力	1	1
社会	40.我が国の文化と伝統に対する理解と愛情	3	7
社会	41.世界と日本との関わりについての理解	2	10
社会	42.諸外国の文化に対する理解	4	3
社会	43.諸外国の文化を尊重する態度	1	2
社会	45.民主的社會の一員としての 基本的な知識と態度	5	2
社会	46.社会的事象についての公正な判断力	7	1
算数	35.様々な事象を数理的に考察し、 処理する能力		
理科	36.科学的思考力・判断力	7	2
理科	47.自然や科学についての見方や考え方	5	2
家庭	48.家庭生活や社会生活の向上改善のため に必要な判断力	2	3
家庭	49.職業や家庭生活に関する 主体的実践的な態度	4	2
家庭	51.家庭生活や社会生活の向上改善 のために必要な基本的知識、技術	1	4
体育	52.運動に親しむ習慣	7	13
音楽図工	53.音楽や美術など芸術を愛好する心得	10	4
音楽画工	54.芸術に対する豊かな感性、情操の基礎	10	4
		N = 67	N = 61

表12

(5) 生きる力に関する項目で特に育てたい資質や能力並びに態度

	現職教員	学 生 児教3年
21.善悪の判断などの基本的倫理観	32	21
33.たくましい体力	14	4
34.生活習慣・能力の習慣や自制心と自立心	15	17
44.外国語によるコミュニケーション能力	3	5
50.健康で安全な生活を生涯にわたって 送る態度	10	11
55.情報の理解、選択、処理、創造などの能力	6	5
56.情報手段を活用する能力や態度	2	1
57.身に付けた知識や技能の総合的活用	6	16
58.公德心やボランティア精神	16	17
59.郷土や国を愛する心	2	12
60.世界の平和や国際親善に努める心	5	12
	N = 67	N = 61

VI まとめと今後の課題

文献等

(1) まとめ

- 資質・能力並びに態度の抽出の方法において、特に重視されている事項に焦点を当てた。現在要請されていることは、概ね網羅している。
- 予備調査において、現職教員と学生を対象にしたことは、「社会」・「教員」・「学生」までの広がりとなる。
- 現職教員並びに学生の選択は、心の教育に関する事項が多い傾向にあった。
- 今後特に育てる必要のある資質・能力並びに態度は、また、比較的早期に育成されると考えられているようである。
- このことは、当グループで計画している子供が有している資質・能力並びに態度をいかに伸長を図るかに通じるものである。
- 現職教員と学生の違いは、郷土や国を愛する心の育成や身に付けた知識や技能の総合的活用に関することから等である。
- 平成8年度の本研究はBグループの研究の一部分である。

(2) 今後の課題

- 調査内容を慎重に検討し、幼稚園・小学校・中学校の教員並びに幼児・児童・生徒の統計処理に叶う数値の調査を実施する。
- 教科に関する事項と教育活動一般に関する事項を別項目とし、それぞれに相応の調査を実施する必要がある。
- 質問紙から更に行動観察や面談法による調査を実施する。
- 研究の主たる対象は子供であることを念頭において、平成9年度の調査研究を推進したい。

- | | | |
|-----------|----------------------------|--|
| (1) 昭和41年 | 中央教育審議会 | 答申 |
| (2) 昭和46年 | 中央教育審議会 | 答申 |
| (3) 昭和51年 | 教育課程審議会 | 答申 |
| (4) 昭和56年 | 中央教育審議会 | 答申 |
| (5) 昭和58年 | 中央教育審議会 | 教育内容等小委員会審議経過報告 |
| (6) 昭和62年 | 臨時教育審議会 | 答申
第二次答申
第四次(最終)答申 |
| (7) 昭和62年 | 教育課程審議会 | 答申 |
| (8) 平成2年 | 中央教育審議会 | 答申 |
| (9) 平成2年 | 中央教育審議会 | 審議経過報告 |
| (10) 平成3年 | 文部省, 小・中, 児童・生徒指導要録の改訂(通知) | |
| (11) 平成3年 | 中央教育審議会 | 答申 |
| (12) 平成6年 | 文部省調査研究協力者会議 | 「学校五日制について」審議のまとめ
「学校週五日制」について文部省(通知) |
| (13) 平成7年 | 第15期中央教育審議会 | 発足
「諮問事項」 |
| (14) 平成8年 | 中央教育審議会第一小委員会 | 「審議のまとめ」 |